



安全衛生・兵庫

保護具の完全着用・
自動注射器を携行しよう

安全週間を迎えて

兵庫森林管理署長 中島 孝雄

本年度も、全国安全週間が七月一日から始まります。この週間中には安全大会をはじめ、安全関係の様々な取組が行われます。

兵庫署においても、七月四日に安全大会を開催します。今年度も昨年に引き続き請負事業者の方々にも参加していただくこととしています。署員については、無災害が二〇〇日を超え、時間も三万時間に達しようとしています。しかしながら請負事業者の方々を含めると災害は無くなったと言える状況にはなっていません。また、昨年度は災害にいたらないまでも、交通事故が多発しています。ほとんどが相手方の不注意による事故で、運が悪かったとしか言いようのない事故もありますが、危険を予見しておけば防ぐことができたかもしれないような事故もあります。この安全週間・安全大会において、山で仕事をするみなと一緒に安全について考え、意識を高揚しましょう。

森林・林業再生プランを実行する中、国有林においては、民有林の見本・手本となるべきことをする必要があります。職員の皆さんには、造林、生産、販売をはじめ様々な分野で新しいことに積極的に取り組んでもらっています。安全についても同じです。これまで国有林で培われてきた安全対策について、自分たちが率先し、そして民間企業の方々の安全に繋げる必要があります。

この安全週間の間に、もう一度自分の安全について見直して下さい。そして必要と思ったことはすぐに実行して下さい。

最後に、安全に欠かせないのが健康です。心身ともに健康であるように努め、安全で楽しい職場であり続けましょう。そして、職員全員が、『今年度も絶対に災害を出さない。』という強い決意を持つことをお願いします。



平成三年度 全国安全週間

◆スローガン

「安全は家族の願い企業の礎
創ろう元氣な日本！」

◆国有林野事業スローガン

「安全はいかなる時も最優先
過去の事例を思い出し
基本を守って安全作業！」

全国安全週間は、労働災害防止活動の推進を図り、安全に対する意識と職場の安全活動のより一層の向上に取り組む週間です。

昭和三年に第一回が実施されて以来、一度も中断することなく続けられ、本年度で第八四回を迎えます。

この週間を機会に我が職場における労働災害防止活動の大切さを再認識し、積極的に安全活動に取り組みましょう。



7月の安全目標

「こまめな水分補給や休憩を取り、
熱中症の予防に努めよう。」

労働災害ゼロを目指して ヒューマンエラーゼロプログラム

人間特性から生ずるいわゆる誤操作・誤判断・誤作業等のヒューマンエラーが、事故や労働災害の原因とされることが多く、そのエラーの殆どは、人間の心理的な要因にかかわるものと言われています。

労働災害の発生の仕組みをみると、不安全状態、作業方法の欠陥等による事故が全体の80%を占めており、各種作業等にはヒューマンエラーの問題が常についてまわります。

不安全行動には技術が未熟での事故もありますが、主としてヒューマンエラーによる事故が、全体の90%程度に達します。

ヒューマンエラー事故に対処するには

◆ハードウェア対策（物）

物の面（設備・機械・環境・使用道具など）の安全衛生対策を進めることが重要です。

◆ソフトウェア対策（人×物）

人・機械（道具）・作業方法（手順）の立場から、人と物のかかわり合い、人と作業のかかわり合いを整えることが必要です。

◆ヒューマンウェア対策（意識や能力、資質等）

ハード、ソフトの安全衛生管理と一体のものとして、人×心のヒューマンエラー対策として、ゼロ災運動、危険予知訓練（KYT）・指差呼称等を一体的に組み込んだ危険予知活動が有効です。



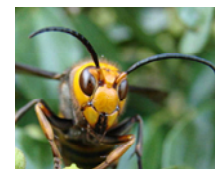
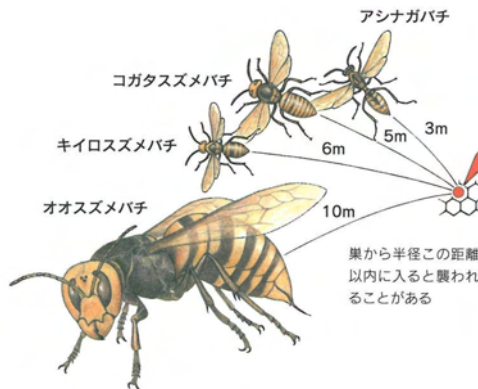
ゼロ災害へ全員参加

蜂刺され災害を防ごう！

ハチの習性を知ろう！

巣からこの距離の半径以内に入ると襲われることがあります。まず巣に近づかないことです。

- オオスズメバチ 10m
- キイロスズメバチ 6m
- コガタスズメバチ 5m
- アシナガバチ 3m



攻撃的で毒性が強く注意を要するのはスズメバチのメスです。7〜10月が蜂が攻撃的になる危険期間です。出来るだけ白色系の服にし、黒いものは身につけないようにしましょう。なお、巣の近くでハチを怒らせると色には無差別となります。巣の近くは要注意です。また、においもハチを刺激し、攻撃の対象となります。（ヘアトニック、香水等の化粧品等）

昨年、島根県の民有林において、下刈作業中にハチに刺され、少し休憩をした後に大丈夫だと作業を行っていたところ、シヨック症状により亡くなったという災害が発生しています。ハチに刺された場合は、油断禁物。安静にして状況をしっかり把握し適切な対応が必要です。

注意！「熱中症」！

昨年の職場における熱中症による死者数は全国で47人。熱中症と分類して統計を取り始めた平成9年以降、最多の人数です。過去10年間（平成13年〜22年）の熱中症による死者の合計は210人であり、おおむね20人前後で推移してきた死者数からみて、22年の死者数は2倍以上の人数となっています。

熱中症にならないために

Point 1 体調を整える
睡眠不足や風邪気味等、体調の悪いときは暑い日中の外出や運動は控えよう。

Point 2 服装に注意
状況に合わせた適切な服を着ましょう。ゆるめで軽い素材の服を着ることで、汗が蒸発しやすくなります。

Point 3 こまめに水分補給
喉が渇いたと感じないときでも定期的に水分補給しましょう。汗をたくさんかいた時は、水よりもスポーツドリンクが好ましいです。



熱中症になってしまったら

- ① 涼しい場所（風通しの良い場所等）に運び、衣服をゆるめて安静にします。
- ② 体温を下げるため「袋に入れた氷水」や「冷たいタオル」等で、血管の太い場所（わきの下、首のまわり・脚の付け根）等を冷やします。
- ③ スポーツ飲料などを飲ませ、水分補給をしてください。

安全標語入選作品

安全衛生の部に42点、交通安全の部に34点の応募があり、安全衛生委員会にて審査をした結果次の標語が入選されました。
たくさんのご応募ありがとうございました。

◆安全衛生の部

するな させるな 気をつけよう

安全を無視したその行動

今井 秀樹

一人で悩む辛さより 誰かに話せる勇氣こそ

皆がめざす明るい職場

平尾 希美

見つけたそのときすぐ注意

皆で声かけ合ってゼロ災害

岩田 幸治

◆交通安全の部

5分前 出かける気持ちを持つことが

目には見えない安全保険

中田 茂己

ゆとりもち かもしれない運転励行し

いつもの「ただいま」いつもの「お帰り」

鳥谷 啓輔

とばすな 焦るな 無理するな 事故は一瞬

後悔一生 笑顔の職場に事故はなし

大本 幹雄

もう少し 空けてみよう 車間距離

ゆとりを持って安全運転

石川 哲也

夏バテになりやすい生活習慣をチェック！

夏バテの原因は、主にビタミンやミネラル・たんぱく質などの不足と、冷房による自律神経の乱れからおこります。夏バテを起こしやすい生活習慣をチェックリストでチェック！

◆夏バテ危険度チェックリスト

- 火を使わない料理が多い
- 食事は麺類やアイス、果物など簡単に済ませがち
- 野菜はほとんど食べない
- 冷たいジュースや炭酸飲料、ビールをたくさん飲む
- 水分を控えて汗をかかないようにしている
- 冷房の効いた場所にいることが多い
- 暑いので入浴はシャワーで簡単にすませる
- 寝るときもクーラーをかけて寝ている
- 夜遅くまで起きている
- 運動はほとんどしない
- 当てはまるものはいくつありましたか？



◆夏バテ危険度の結果発表！

- ①チェック数0〜2個：生活習慣はOK！この調子で生活習慣に気をつければ大丈夫です。
- ②チェック数3〜5個：要注意！このままいくと夏バテを起こしてしまう可能性があります。チェックがついたところをなるべく減らすようにしましょう。
- ③チェック数6〜8個：夏バテの可能性大！日ごろから疲れが貯まりがちなのは？夏の終わりにどっと疲れが出る可能性が！
- ④チェック数9〜10個：夏バテを起こすというよりすでにバテているかも？至急、環境や食事面の生活習慣の見直しをしましょう。

「地道に取り組む基本動作」

販売係長 藤木 俊行

森林管理署での勤務は、今年で4年目になります。職場の雰囲気にも慣れ、業務に追われることもありつつ、充実した毎日を過ごしています。

この職場で特に意識させられることは、「安全」についてです。労働災害の多い林業に関する仕事をしている以上、災害を予防し、無災害に取り組むことは、当然のことですが、一般の方に対しての「安全のお手本」になることもあるため、安全の取り組みは重要な業務のひとつであると感じています。

4年の短い勤務歴ですが、私は「基本動作の確認と実践」が無災害の近道だと感じています。当たり前で、地味な感じを受けますが、実践できている方は意外と少ないのではないかと思います。最近、足元確認を疎かにした災害が多いといわれており、これも基本動作の確認不足が一因ではないかと思えます。私も、入庁当初は、山の歩き方もわからず、一步一步を慎重に歩いていましたが、今では「大丈夫だろう」という安易な気持ちで、林内を歩き、沢を渡るときがあります。そして、危険な行動をしたときは、心のどこかに罪悪感が残り、「何も問題が起きなかったのは偶然、なぜもっと慎重に行動しなかったのか」といつも反省してしまいます。

私は、応用的な手法や行動にあこがれ、早く応用力を習得したいという焦りで、基本





動作を疎かにしてしまいがちでした。しかし、応用力は基礎的な能力を積み重ねて、初めて習得、発揮できるものではないかと、最近ふと感じるようになりました。

「災いは忘れたころにやってくる」とよく言われますが、いつも危険を意識して行動することは神経が疲れてしまいます。しかし、基本動作を心がけることは日常的なことでもあり、無理なく取り組むことができ、継続しやすいと思います。派手さには欠けますが、今後、地道に基本動作を確認し、実践していきたいと考えています。

日頃の生活を振り返って!

管理係 古賀 崇晃

4月に神戸森林事務所から兵庫森林管理署に転勤して、3ヶ月が経ちます。私は森林事務所に新規採用され、今回の転勤で初めての署内に勤務することになりました。業務では覚えることや慣れないことが多く、署の皆様にはいつも助けていただきながら毎日過ごしているところです。

さて、今回、原稿の依頼を受け日頃の自分の生活を思い返しておりまして健康のために改善した方がいいと思ったことが2つありました。1つ目は運動不足です。休日にスポーツをやるわけでもなく、自宅近くの買い物でも車でいきますので日常生活で運動はほとんどやっておりません。最近では、少し急な階段を歩いただけですぐに息切れ、運動をした翌日には体のあちこちが筋肉痛になってしまい日頃



の運動不足を痛感しております。

2つ目は食生活についてです。これまで食事を自宅で食べるときはご飯を炊き、おかずはスーパーで買った惣菜ですませており、料理はあまり作っていませんでした。しかし、スーパーの惣菜は種類が少なく、濃い味付けのものが多いため毎日同じような惣菜を食べ、偏った食事をしていました。

今回の安全週間を機会にこの2つを改善したいと思っています。食生活については、買った惣菜を食べるだけでなく自分で調理をし、栄養のバランスを考え、食事を取るようになり、運動不足については、普段は車に乗って行く買い物を、自転車や徒歩で行くようにし少しでも日常生活のなかで運動を行う機会を作り、運動不足を解消したいと考えています。

最後になりましたが、今後も健康な毎日が過ごせるよう努力していきたいと思っています。

山の歩き方!

森林育成係 井上 欣勇

4月から兵庫署でお世話になっております。林業についてはほとんど予備知識のないまま入庁し、まだわからないことも多くありますが、周囲の方々に助けられながら、少しずつ仕事にも慣れてきました。また、この2ヶ月半の間にいろいろな現場にも連れて行ってもらい、国有林というのがどういう環境なのか、おぼろげながら見えてきたところです。

さて、安全衛生というテーマで原稿依頼をいただいたので、これまで勤務したなかで印象に残



っていることについて話したいと思います。

私は小学生のころからサッカーをしてきたため体力には自信があり、また以前の職場でも現場に出ることが多く、山歩きはある程度大丈夫だろうと考えていました。しかし、国有林の現地調査に行った際、上司の方に「見ていて危なっかしい。山の歩き方になっていない。」と言われました。確かに、先日見た労災情報のひとつに「踏んだ丸太が動き、膝を捻った」という事例がありました。自分も同じ状況でヒヤッとした経験があります。また、私が登山靴の方が慣れているというところ、地下足袋に慣れた方が良いというアドバイスも頂きました。まだまだ国有林の歩き方は初心者だったようです。

これから現場に出るときは、まず足元をよく注意し、どんな危険があるかを予測したうえで次の一歩を踏み出すような歩きたいと思っています。また、先輩方がどのような歩き方をしているのかも気にかけて、見習っていききたいと思っています。そして地下足袋になれば、国有林の歩き方をマスターすべく現場に赴きたいと思っております。職場の皆様、森林官の皆様にはよろしくお願ひ申し上げます。

■夏本番を迎えるこの時期。

湿度が高く汗が乾きにくいため、皮膚病もおきやすい時期です。汗をかいたらタオルで拭く、着替えるなどして体調を維持しましょう。(前回の答え、兵庫県の花まじり)



この花なあに?



発行 兵庫森林管理署 安全衛生委員会